

阿知須町民憲章

- 一、勤労を尊び、奉仕の精神で励みます。
- 一、スポーツに親しみ、健康で明るくらしを築きます。
- 一、生涯を通して学び、うるおいのある生活を求めます。
- 一、きまりを守り、温かい心のふれあいを広げます。
- 一、伝統と自然を大切に、住みよいまちをつくりまします。

平成 4 年

№.492

12 / 5

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話 65-4111 代 754-12

広報あじす 毎月 5 日 発行
お知らせ版 毎月 20 日 発行



ピタッと決まった月組さん

笑いや拍手いっぱい

保育園でお遊戯会

十二月二十五日はクリスマス。これを前に保育園、幼稚園、学校ではいろいろ楽しい行事を予定しています。

そのうち町立岩倉保育園は十二月二日に遊戯会を催し、かわいい園児二十三人が歌や合奏、ダンス、舞踊劇など発表しました。

この日は平日ながらおじいちゃん、おばあちゃん、おとうさん、おかあさんなど観客も多く、園児たちは大はり切り。あどけないしぐさに目を細めるお年寄りもあり、会場は笑い声や拍手がみなぎりしました。

現在、岩倉保育園の園児は旦と岩倉地区から通園しています。

町立砂郷保育園の遊戯会は四日でした。

「生命・財産」守る誇り30年

消防団幹部、火災シーズンに語る



長尾第2分団長

浜木第1分団長

村田副団長

“若い人に入って欲しい”

欠員、高齢化で悩み新らた

冬は火災が多く発生します。阿知須消防団は十二月を歳末特別火災予防月間として取り組み、二十九日、三十日には夜間の特別警戒にも当たります。団員は平素職業に励みながら、火災、水害の際にはいち早く出動するほか、日ごろは防火の呼びかけ、訓練などに励んでいます。そこで、今月は消防団の幹部に消防活動について語り合っていました。

本町の消防団は全体で定員七十人。団長一人の下に副団長二人、その下に三つの分団があり、それぞれ分団長、副分団長、部長がいます。

▽第一分団(阿知須)は定員三十一人、在籍二十六人。

▽第二分団(井関)は定員十八人に在籍十六人。

▽第三分団(岩倉・旦)は定

早い出動、その

陰に家族の協力

本町ではここ三十年ばかり家屋を類焼する火災は起きていません。電話の普及、消防車の整備で通報、現場到着が早くなったことにより、本町の場合、常備の消防ではないのに非常に早いことが成果をもたらしていると評価されています。話の中では「火災を知らせるサイレンが鳴りやまぬうちに移動するぐらいの気持ち」。日ごろの心構えは「いつでも出動できるように着る物を一定のところにそろえておく」。自分自身は「家族の協力があればそれだけ早く出動できる」とのこと。必要なのは停電でも分る

員十八人。現在十七人。

欠員は計八人。しかも、若い人の入団がなく、団員の平均年齢は四十四歳。

在籍六十二人のうち町職員が十八人。一番若いのが二十五歳。町職員以外で一番若い団員は二十八歳。「ワシらは二十歳前から入団しました」

「町内に住んでいても、勤めが町外だと役が果たせない」とにかく、若い人に入ってもらいたい。奉仕の気持ちをもって「年齢の上限は決まっていけない。数年までは六十歳までと限られていたが、町条例の改正で任務が果せるなら認められるようになった」。

ようにしてある」。

燃料の保管は

安全な場所

ことしは十一月末日までに町内で家の火災はありませんでした。喜ばしいことです。しかし、いつ発生するか分かりません。「近年はガスや電気での炊事をしたり、風呂をわかしたりするので残り火による火事は起きにくくなった。炊事関係で危険なのは食用油を使うときだ。途中で離れるときは必ず火を消しておくこと」それに「最近では農機具や自動車のために家で燃料を保管している家が多い。引火しないよう安全なところに置いてほしい」。

役場の窓

◆特定商業集積法に基づいて町では商業に関する基本構想(長期計画)をつくり、自治省、通産省、建設省、山口県などと協議を進めています。十一月二十日付で県知事の承認を得ました。平成三年五月に法ができ、この基本構想にそって大型店を建設する場合、駐車場、緑地など国の補助金が出たり、無利子や低い利子のお金を借りることができるようになりました。その結果は、入店者の負担金の軽減、消費者のサービス向上につながります。コミュニケーションセンター計画のショッピングセンター建設が延期されたのはこの承認待ちも一因です。来年はいよいよ着工です。

◆この商業計画は全国から注目を集め、秋は視察者の対応に大わらわでした。四月以降、健康文化センターに五十四件、七百二十人、商工会には四十五件、五百四十人が来訪、商業に関する中国地区のシンポジウム、研修会も健康文化センターで開かれるなど町外からの来訪者がめだちます。

◆本紙はこれが今年の最終版です。年があげると広報委員が紙面について聞き取りのアンケートをする予定にしています。お役に立つ広報紙をめざしてみなさまのお考えを聞こうというわけです。

みなさま、よい年をお迎えになりますように。

出席者 敬称略

- ▽消防団長 中村昭三(西条)
- ▽同副団長 中川 清(旦北)
- ▽同 村田輝雄(向井関)
- ▽第一分団長 渡木保俊(寺河内)
- ▽第二分団長 尾正一(河内)
- ▽第三分団長 上野一秋(岩倉辻)
- ▽消防長・町長 飯田 宏史

安心して住める まちの建設へ

本町は町長が消防長の役を兼ねています。消防組織法には「消防長は消防本部の事務を統括し、消防職員を指揮監督する」と定めてあります。その飯田町長は話合いのまとめとして、「ここに出席の方は三十年以上勤務の方はばかりです。みなさんのご尽力には頭が下ります。消防が好きだからとか頼まれたからというふうなことだけでは任務を全うすることはできません。町民の生命・身体・財産を守るということに使命と誇りを感じて

記録に残る大火

記録に残っていたり、語り伝えられる本町の火災は次のとおりです。明治以前の大火はいずれも阿知須浦地区です。
 ▽延亨二年(一七四五) 二百三十余戸焼失
 ▽文化五年(一八〇八) 百三十四戸焼失
 ▽嘉永四年(一八五二) 焼



飯田消防長 中村団長 中川副団長 上野第3分団長

おられるからだと思えます。団員であるからには非常のときはいつでも出勤できる心構えを持ち続けていなければなら

失戸数不明だが本竜寺など類焼

▽明治三十三年(一九〇〇) 四十戸焼失。ただし、明治三十四年に発生、約七十戸の記録との記録もあります。昭和に入ってから三十九年(一九六二)に井関校区の杖川地区で十四戸焼失したのが最大の火災。

りません。大変なことですが、家族のご協力も格別です。しかし、世間の風潮としては、そうしたことに続こうとか、敬意を払う、感謝をするという気持ちも薄れつつあるように思います。今後は団員の確保、建物の高層化、交通災害対策など新たな対応も必要となっております。団員のみならずの崇高な精神に報いるとともにこれらの問題解決に取り組む、安心して住める町の建設に努めたいと思っております」と結びました。

数字で見ると 阿知須

16

病気は早く治して 医療費少なく

病気がなったとき、医療費を本人だけが支払うとなると大変です。何百万円になることもあります。本人の一時的な負担を少なくするために健康保険制度があるのです。その健康保険は職場、職種で大方の人が加入しています。が、自営業など職場の保険のない人は市町村が運営する国民健康保険に加入することになっていきます。本町の加入者はこの十月一日現在二千八百八人です。

もう一つ、老人医療保険は健康保険の種別に関係なく七十歳以上と六十五歳以上の身体障害者が対象で、これは千九十九人です。これも市町村が運営しています。ところで、この老人保険の受診状況はどうなっているのでしょうか。最新(本年五月分)の医療費請求書を分析した結果は次のような傾向がみられます。

▽件数①高血圧・脳出血など②目や耳など③歯・胃炎など▽診療費①高血圧・脳出血など②歯・胃炎など③リウマチ・腰痛・肩こりなど

五月だけの件数は千二百二十二件、診療費は六千二百五万円です。一件平均約五万八千円かかった計算です。一般には「老人医療はタダ」と思われ勝ちですが、実際には保険から支払われているのです。それだけに、日ごろから早期発見、早期治療にとめるなど病気の軽いうちに早く治して医療費が少なくて済むよう心掛けたいものです。それが保険料の掛け金を少なくすることにつながるのです。

老人保健の疾病分類

平成4年5月診療
5月末対象者数 1,101人

件数 順位	疾 病 名	件 数	費用額 (万円)	一件あたり 費用額
1	循環系の疾患(高血圧・脳出血など)	424	2,599	8
2	神経系及び感覚器の疾患 (目や耳の病気など)	254	173	14
3	消化系の疾患(歯科及び胃炎など)	187	969	10
4	筋骨格系及び結合組織の疾患 (リウマチ・腰痛・肩こりなど)	121	689	9
5	内分泌・栄養及び代謝疾患 並びに免疫障害(糖尿病など)	64	475	7
6	新生物(ガン)	37	270	6
7	呼吸系の疾患(かぜ・気管支炎など)	35	267 276	4
8	泌尿生殖器系の疾患(腎炎など)	21	220	3
8	皮膚及び皮下組織の疾患	21	23	13
10	精神障害	18	126	7
11	損傷及び中毒(骨折・ケガなど)	17	196	1
11	感染症及び寄生虫症 (結核・ウイルスなど)	17	186	2
13	症状・徴候及び診断名不明確の状態	4	8	11
14	血液及び血管系の疾患	2	4	12
合 計		1,222	6,205	

508

一般会計予算額 30億2,089万0千円

下半期の財政状況

(平成4年4月1日～平成4年9月30日)

地方自治法および阿知須町条例により次のとおり公表します。

阿知須町長 飯田 宏史

歳出

歳入

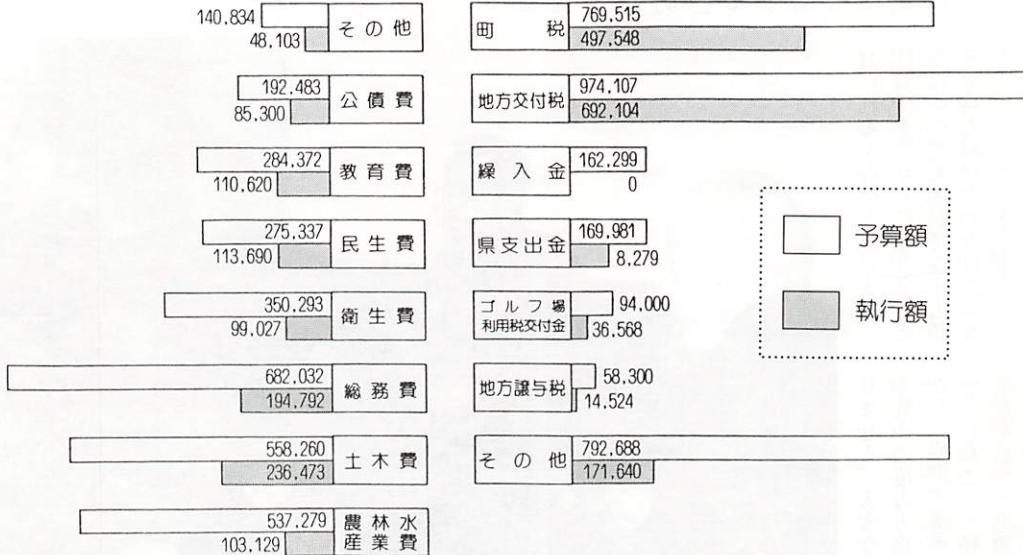
(単位：千円)

(支出済額 991,134

(収入済額 1,420,663

支出率 32.8%)

収入率 47.0%)



特別会計執行状況

(単位：千円)

会計名	予算額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
老人保健会計	721,454	355,752	49.3%	355,752	49.3%
国保会計	479,241	181,732	37.9	165,954	34.6
同和福祉 支援資金	522	640	122.6	0	0.0
同和地区 住宅資金	919	465	50.6	454	49.4
交通災害 共済事業	3,841	3,316	86.3	2,367	61.6
土地取得	8,617	1	0.0	0	0.0

町債および一時借入金の現在高

(平成4年9月30日)

- 町債 1,697,013千円
- 一時借入金 0円

町有財産の概況

(平成4年9月30日)

- 土地 916,302.90㎡
- 建物 25,123.74㎡
- 町一般基本金 269,424千円
- 電話債券 120千円
- 出資金 228,524千円

予算並びに収入支出に関する事項

収入 1. 収益的収入および支出

(単位：円)

区分	予算額	9月末現在執行額	執行率%
第1款 水道事業収益	179,847,000	55,415,370	30.8
第1項 営業収益	104,343,000	53,067,989	50.9
第2項 営業外収益	75,494,000	2,345,069	3.1
第3項 特別利益	10,000	2,312	23.1

支出

区分	予算額	9月末現在執行額	執行率%
第1款 水道事業費	179,847,000	68,898,100	38.3
第1項 営業費用	152,724,000	55,610,339	36.4
第2項 営業外費用	27,013,000	13,287,761	49.2
第3項 特別損失	10,000	0	0
第4項 予備費	100,000	0	0

収入 2. 資本的収入および支出

区分	予算額	9月末現在執行額	執行率%
第1款 資本的収入	51,000,000	0	0
第1項 補助金	21,000,000	0	0
第2項 企業債	30,000,000	0	0

支出

区分	予算額	9月末現在執行額	執行率%
第1款 資本的支出	67,304,000	6,365,158	9.5
第1項 建設改良費	57,900,000	1,745,100	3.0
第2項 企業債償還金	9,404,000	4,620,058	49.1

水道事業
会計

地方公営企業法および町条例に基づいて平成4年度財政状況(平成4年9月30日現在)を公表します。

阿知須町長 飯田 宏史

あたたかい心で

笑顔のまちを

同和教育推進地域発表大会特選作文

井関小学校6年 藤 井 康 子



人と人がふれあう時、ちよつとした言葉や態度で相手を傷つけてしまうこともあれば、あたたかい心でお互いに笑顔をかかずともあります。それは、相手のことを考えるか考えないかでちがってくるものだと思います。

わたしたちの日ごらの生活でも、相手のことを考えずに、友達にいやなことをいったりしたりしているのではないのでしょうか。

両親との話の中でも、時々、身の周りの差別のことがでてきます。わたしは今、六年生ですが、これまで差別をしたりされたりしたことが何度かあったと思います。

テレビで、世界のニュースを観ていると、人や国などで差別をする人がいるんだなと感じます。差別というのは、人の心を傷つけてしまいます。わたしたちは、そんな人を許しておいていいのでしょうか。このままではもつとたくさん人の心が傷つき、中には、一生消えない深い傷を受ける人もでると思います。

わたしたちの町にも、赤ちゃんからお年寄りまでいます。今、わたしたちが差別をなくさないで、まだ心がピカピカの赤ちゃんが差別というものをおぼえてしまうと思います。だから、今生きていてる人で、なくしていった方がいいと思います。

これとは反対に、最近、人と人とのあたたかいふれあいのすばらしさを感じました。それは、「白松苑」へ訪問に行った時、おじいさんやおばあさんが、孫のようなわたしに、やさしい言

葉で話してくださいだったり、あたたかい手で握手してくださいだったり、ふるさと学習で、わたしの知らないことを熱心に教えてくださったことなどです。お年寄りの方とのことばかりではありません。わたしの周りには、次の人のためにトイレのスリッパをそつとそろえていく人や、教室のそう除の時、一度に机と机が運べるように、いすを机の上にあげておいてくれる人など、他人のことを考えて行動する人がたくさんいます。学校の行き帰りの途中で、わたしたちのために、横断歩道で止まってくださる運転手さんも、同じように、相手の立場でものを考えることのできる人なのではないでしょうか。そういう人たちは、きっと心が輝いている人だと思います。

わたしは、差別をなくし、人と人とのあたたかいふれあいを作っていききたいのです。差別のない学校や町は、人と

人との心が通い合って、いつもみんなが笑顔でいられます。そんな様子をいつも見たいと思います。

でも、わたしは、いつでもどこでも、あたたかい心で人に接することができるという自信はありません。

しかし、これからは、もつと一生けん命に身の周りの差別に気づき、なくしていきたいと思います。あたたかい心で相手のことを考えて、正しいと思ったことは実行していきたいと思えます。



新しい民生児童委員

新しい民生児童委員十七人が十二月一日付、任期三年で次のとおり決まりました。

- (敬称略)
- 長田岩一(小西)須上義治(前山) 林経康(南祝) 芳野照子(恵比須)岡田歳一(縄北)磯中宏(西条) 坂野美代子(浜磯)磯金明二(砂一) 天野アヤコ(砂三) 松田正興(飛石) 田邊忠志(岩西) 岡村浩英(岩辻) 藤井あい子(巨門松) 古谷正亮(赤迫) 長井和子(河内) 田井中巖(杖川) 村長千恵子(仙在)



手作りのおやつ

毎日のおやつはどうされていますか。子どもが喜ぶ、簡単に早く食べられるという理由で市販のお菓子や清涼飲料で済ませていることが多くありませんか。

では如何でしょうか。添加物の心配も少ないし、甘さも調節できます。

また、水分補給のためには牛乳や麦茶など甘くない飲みものを添えてみましょう。

おやつのお与え方三原則

- ▽時間を決めて規則正しく与える
- ▽内容は栄養のバランスを考える
- ▽量を決めて与える

(町食生活改善推進協議会)

芋まんじゅう

<1人当りの栄養価>

エネルギー	285 kcal
たん白質	4.5 g
脂 質	1.4 g
カルシウム	32mg

さつまい芋(皮をむいて)	150 g
砂糖	40 g
塩	ひとつまみ
小麦粉	150 g
ベーキングパウダー	小さじ2
砂糖	40 g
牛 乳	70cc

〔材 料〕 (4人分)

〔作り方〕

- ① さつまい芋は皮をむき、水にさらし5mm厚さの輪切りにする。蒸し器で蒸し、小なべに移し、すりこぎでつぶす。砂糖を加えよく混ぜ、8個にまるめる。
- ② 小麦粉とベーキングパウダーはふるいにかけて、砂糖、水を加え耳たぶの固さにこねる。棒状にし8等分する。
- ③ ②に芋あんを包む。蒸し器にぬれ布巾を敷き、まんじゅうを入れ10分間蒸す。

公民館だより



の室
オ教
ビ編
よ



婦人学級でりんご狩り
(町外研修会)

元旦につどう会 ことしも 岡山台地で

元旦のご来迎と先祖の霊を拝し町勢の発展とお互の健康や活躍を祈念するためのつどい。

町公民館では「平成五年元旦につどう会」を一月一日午前七時から岡山合同納骨塔前広場で開きます。当日の日の出は七時二十分。

どなたでも参加できますが、小学生、児童は保護者と一緒にご参加ください。ただし、スポーツ少年団や子ども会など引率のある団体を除きます。

なお、当日は駐車場が狭いため会場へは徒歩で参加されます。

「魔女の宅急便」を上映 12月20日・クリスマス映画会

町教育委員会ではクリスマス映画会としてアニメーション

「魔女の宅急便」(宮崎駿監督作品)日本昔ばなし「わらしべ長者」を次のとおり上映します。

日時 十二月二十日(日)午前十時から午後二時からの二回

場所 町公民館三階大講堂
当日は抽選でクリスマスプレゼントが当たります。ご家族やお友だちを誘って多数ご来場く



ように。雨天の場合は中止します。

小学生も健闘 町民文化祭囲碁大会

阿知須囲碁同好会は十一月三日、町社会福祉センター二階で「町民文化祭囲碁大会」を開きました。

当日は老いも若きも、年齢の差を越えて対等に戦い、心のふれあいを感じながら、晩秋の一日を楽しく過しました。

成績は次のとおり。

- ①浜崎武雄(縄南) ②平川慶治(巨東) ③坂野時治(南祝) ④塩谷栄(東) ⑤徳永孝一(岩西前) ⑥松重幸祐(砂三) ⑦松下秀夫(縄北) ⑧安村重男(沖の原) ⑨三宅精巧(沖の原) ⑩重元末(岩西)

昇級者
平川慶治(巨東) 4級へ・藤井研吾(浜) 5級へ

各種大会の成績

▽教育長杯ソフトボール大会(11/8、阿中ケランド)

①岩倉スナイパーズ ②阿中OB ③岩倉スターズ

▽近郷サッカー大会(11/15、スポ少本部)

男子の部 ①宮野 ②勝間 ③吉敷

女子の部 ①萩明倫 ②見初

▽近郷少年柔道大会(11/22、スポ少本部、町体協)

小学生低学年の部 ①松美A ②中関A ③防府A、小学生高学年の部 ①富田B ②富田A ③小野田柔A、中学生の部 ①阿知須 ②小野田柔 ③岐陽A

▽近郷少年剣道大会(11/23、スポ少本部、町体協)

男子の部 ①小学生低学年の部 ①神道館 ②新川 ③上宇部、誠心館、小学生高学年の部 ①小羽山 ②上宇部 ③協和・八坂

中学生の部 ①小羽山 ②小羽山 ③防府・神道館(女子の部)

小学生低学年の部 ①常盤 ②防府市小野、小学生高学年の部 ①協和 ②上宇部、中学生の部 ①協和 ②八坂

☆図書室への寄贈

○コットンクラブ(代表者川口邦子さん)から図書券を。

○蔵藤和義(縄北)さんから図書。

県内外から七百人余の参加 文部省指定同和教育推進地域発表大会

「歩みたい みんなの笑顔 広がる道を」

町教育委員会は十一月二十五日に平成三・四年度文部省指定同和教育推進地域発表大会を開きました。

午前中は分科会として、井関小で県内外の教育関係者百二十四人、阿知須中には百十四人が参加して公開授業と研究協議、町公民館では百七十一人が参加映画「にぎやかな家族」をみたあと五人の意見発表、研究協議を行いました。

午後は阿知須中体育館で町同和教育推進大会を兼ねて町民約三百人、合計七百人余の参加のもとに全体会が開かれました。



県教育委員会山本参事や飯田町長の開会あいさつ、町内小学生から募集した作文・ポスター・標語の特選者の表彰などがありました。

続いて井関小六年藤井さんの作文発表、町教委三井社教主事の実践報告、県教委中村経夫同和教育課長の指導講評がありました。

そのあと記念講演として「同和教育とのすばらしい出会い」と題して、前周東中学校長大下逸次氏が講演、「同和教育は自分の生き方をみつめる教育である」「人が人を差別すること

作文の特選者は次のとおり

○作文の部
「あたたかい心で 笑顔のま

ちを」 井関小 六年 藤井 康子

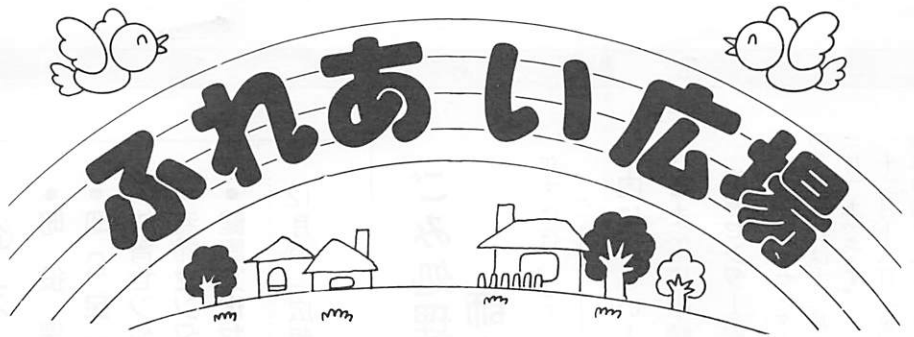
井関小 六年 高井 美枝

○ポスターの部
阿知須中三年 森重 健一

○標語の部
「げんきよく みんなわにな

れ なかよしだ」 阿知須小一年 酒井 正宏

「歩みたい みんなの笑顔 広がる道を」 阿知須中二年 松永 恰子



「ふれあい広場」はみなさんのページです。町政への提言や身近かな話題、絵画、写真など町企画課(有線二四四)へお寄せください。

↑
一歳になりました

さとる 慧くん

(平成3年11月11日生) 堀江 良二(二の宮) 美奈子さん長男



なつき 菜月ちゃん

(平成3年11月11日生) 黒田 和彦(砂郷三) 智美さん長女



あかね 茜ちゃん

(平成3年11月12日生) 永山 義幸(巨門松) 智子さん二女



よしき 佳樹くん

(平成3年11月17日生) 北村 清隆(北祝) 亜紀子さん長男



ゆうさく 優作くん

(平成3年11月17日生) 奥田 靖夫(砂郷三) 由美子さん長男



あずさ 梓ちゃん

(平成3年11月22日生) 中島 辰夫(巨西) 由美さん長女



しんや 真弥くん

(平成3年11月25日生) 上野 勝則(岩辻) 美和さん長男



◇香典返し▽片岡純一さん(寺河内)は母ヒサ子さんの▽大下義明さん(岡)は母タキさんの▽田代倫和さん(源河)は母ナ

永年の功労で表彰

中尾元町長に自治大臣

三好前町長は文部大臣

町長経験者一人がこのほど大臣表彰を受けられました。

▽その一・町内浜区・中尾若雄さん(83)は自治大臣表彰を、昭和二十九年から五十五年までの間、通算二十三年三か月間町長をつとめ、自治行政に功労があったことが理由。

▽その二・町内浜区・三好正之さん(75)は昭和二十一年から五十五年まで阿知須中学校の校医をつとめたほか県学校保健連合会理事として学校保健に功労があったとして文部大臣表彰。

更生保護婦人会に

感謝状

阿知須更生保護婦人会(尾上孝子会長)は十一月十一日、山

ツさんの▽仲西徳二さん(南祝)は母シモさんの▽濱村信夫さん(浜)は母ヤサさんの▽古谷正亮さん(赤迫)は母フシさんの▽西村満博さん(宇部市北小羽山)は兄進さんの▽田邊チサ子さん(岩西)は夫正人さんの▽工藤昭三さん(東)は母タツさんの▽廣重功夫さん(縄北)は父吉一さんの

口保護観察所長から感謝状を受けました。七月の社会を明るくする運動期間中、再犯防止に関する法務省の行事に参加、功労があったというのが理由。

井上さんは 模範障害者

町内砂郷三区、井上博さん(69)はこのほど新南陽市で開かれた県総合福祉大会で県肢体障害者福祉協会会長から模範障害者として表彰されました。

井上さんは口、耳が不自由ながら木工として自立、ろうあ者の更生、手話を通じての福祉活動など積極的な参加が高く評価されたものです。

町議経験者に勲六等

故岡村・砂村の二氏

町議会議員を長期つとめ、こ

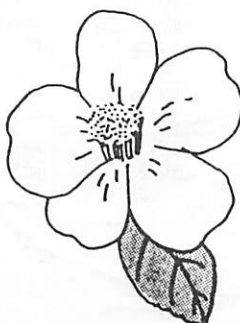


(十一月二十五日受付分)

出生(おすこやかに) 子の名 続柄 親の名 月 日 住 所 藤重 慶太二男 政浩 10・21 岩西前 藤澤 心三男 誠 10・23 飛石 金重 光貴二男 忠司 10・22 二の宮 土本 稜長男 孝司 10・30 寺河内 山原 美穂長女 茂裕 10・30 浜 中野世梨奈長女 勝利 11・10 旦北

とし死亡された人に自治功労者として叙勲がありました。▽岡村牧恵さん(岩辻)は八月七日、八十三歳で死去。昭和四十五年九月から二期八年町議。その間、町議会議長一期四年つとめ町勢の振興につとめた功績で勲六等瑞宝章。

▽砂村猛夫さん(飛石)は八月二十九日、六十八歳で死去。昭和四十九年から死亡の日まで町議四回当選、通算十二年九か月総務常任委員長などつとめ自治功労があったとして勲六等瑞宝章。



田邊 裕之長男 秀男 11・15 砂一

死亡(ご冥福を祈ります) 氏名 死月日 年齢 住所 廣重 吉一 10・30 59 縄北 田邊 スミ 11・4 77 沖の原 濱村 ヤサ 11・7 91 浜 郡 敏 11・13 53 縄北 中川 キシノ 11・13 94 沖の原 工藤 タツ 11・14 88 東 田邊 正人 11・14 81 岩西 野村 教馬 11・18 93 沖の原 田邊 キミ子 11・23 72 岩西

